

※個々の用語・表現につき、[イートモ](#)検索で得られた対訳を最大3件まで提示します。

※検索語の後ろの数値(XX 対訳)は該当する対訳の件数を意味します。

和文原稿(ロズリートレク・インタビューフォーム 57)

本邦における効能又は効果、用法及び用量は、以下のとおりである。

<NTRK融合遺伝子陽性の進行・再発の固形癌>

通常、成人にはエヌトレクチニブとして1日1回600mgを経口投与する。通常、小児にはエヌトレクチニブとして1日1回300mg/m²(体表面積)を経口投与する。

<ROS1融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌>

通常、成人にはエヌトレクチニブとして1日1回600mgを経口投与する。

ALKA試験、STARTRK-1試験、STARTRK-2試験の3試験(安全性解析対象集団339例)では承認された効能及び効果、用法及び用量以外の情報を含むが、当社として推奨するものではない。

(「V-1. 効能又は効果」「V-3. 用法及び用量」参照)

本邦における(8対訳)

The Authority asked the applicant to explain the definition of treatment-resistant schizophrenia and the current situation in Japan.

当局は、治療抵抗性統合失調症の定義及び本邦における現状を説明するよう申請者に求めた。

本邦における→日本における(39対訳)

According to the "Patients Survey" conducted by the Ministry of Health, Labour and Welfare in 2008, the number of patients with mood disorder in Japan was over one million.

厚生労働省が2008年に実施した「患者調査」によると、日本における気分障害の患者数は100万人を超えた。

以下のとおりである(25対訳)

Key considerations that must be kept in mind in the assessment of causality are: ...

因果関係の評価に際して留意すべき主な事項は以下のとおりである。

The basic concepts of this law are as follows: ...

この法律の基本理念は以下のとおりである。

以下のとおりである→以下の通りである(15対訳)

For each of the other secondary and exploratory efficacy endpoints, the null hypotheses to be tested are as following: ...

他の副次的評価項目及び探索的有効性評価項目のそれぞれについて、検証対象となる帰無仮説は以下の通りである。

体表面積(48対訳)

Patients were treated with Drug A 2.0 mg/m ² body surface area intravenously once every three weeks and demonstrated an overall response rate (ORR) of 35.0% in the HER2-negative breast cancer cohort as a whole.	患者に薬剤A 2.0mg/m ² 体表面積を3週間に1回静脈内投与したとき、HER2陰性乳癌コホート全体における奏効率(ORR)は35.0%であった。
---	--

経口投与する(36対訳)	
Daily doses exceeding 50 mg should be orally administered in two or three divided doses.	50mgを超える1日用量は2分割又は3分割で経口投与する。
Drug A is given orally with or without food.	薬剤Aは食事時間に関係なく経口投与する。
Drug A should be administered orally once daily at the same time every day (preferably in the morning).	薬剤Aは毎日の同じ時刻(午前中が望ましい)に1日1回経口投与する。

通常、成人にはエヌトレクチニブとして1日1回600mgを経口投与する→通常 経口投与(12対訳)	
The usual adult dose for oral use is 10 mg as Drug A immediately before bedtime.	通常、成人には薬剤Aとして10mgを就寝直前に経口投与する。

推奨するものではない→推奨しない(2対訳)	
We agree that molecular response should be a secondary endpoint, but we would not recommend using molecular response as a sole primary endpoint.	我々は、分子学的奏効を副次評価項目とすべきということに賛成するが、分子学的奏効を単一の主要評価項目とすることを推奨しない。